

2. 教職課程履修要項 — 2014～2018年度入学者各学科別

はじめに

教員免許状取得のためには、「教科に関する科目」、「教職に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」、「各免許状共通科目（免許法施行規則第六十六条の六に定める科目）」の4つのカテゴリから科目を修得する必要があります。

小学校及び中学校の教員免許状取得のためには、上記に加え、前述の介護等体験が必要です。

1. 履修の方法

「各免許状共通科目（免許法施行規則第六十六条の六に定める科目）」は、高等学校・中学校、小学校、幼稚園の全ての免許状に必要な共通科目です。

2010年度以降入学者は指定された免許状履修表・教育実習履修資格要件を基に計画を立ててください。

各免許状共通科目（免許法施行規則第六十六条の六に定める科目）

科目	本学の該当科目 (単位)	中学校・高等学校 小学校・幼稚園 共通	
日本国憲法	憲法1② 憲法3②	選択必修	2
体育	体育運動学② 運動学1① 運動学2① 運動学3①	選択必修	2
外国語コミュニケーション	1年英語④ 1年英語1② 1年英語2② 2年英語1② 2年英語2 (リーディング)② 2年英語2 (オラル) ②2年英作文②	選択必修	2
情報機器の操作	教育情報基礎演習1② 基礎情報処理技法② 情報活用演習②	選択必修	2
	最低修得単位数計		8単位

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

※カリキュラムマップ（教職に関する科目）

高等学校・中学校教諭免許状に係る「表2 教職に関する科目」全体の履修系統図です。

詳細は、各学科・教科別の表を参照してください。

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数		履修年次	共通開設学校種	履修方法	
		必	選				
教職の意義等に関する科目	教職入門Ⅱ	2		1～4	中高		
							・教職の意義及び教員の役割
							・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）
教育の基礎理論に関する科目	教育原理	2		1～4	中高	これらより2単位選択必修	
	教育心理学Ⅱ	2		2～4	中高		
	発達心理学2	2		2～4	中高		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育経営	2		1～4	中高	これらより2単位選択必修	
	教育行政学2	2		1～4	中高		
	比較教育学	4		1～4	中高		
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		2～4	中高	該当教科の指導法を履修。なお、各教科の指導法の科目より、半免は6単位、高免は4単位それぞれ選択必修	
	各教科の指導法	英語科教育法1	4	3	中高		
		英語科教育法2	2	2～3	中高		
		英語科教育法3	2	2～3	中高		
		国語科教育法1	4	3	中高		
		国語科教育法2	2	2～3	中高		
		国語科教育法3	2	2～3	中高		
		社会科教育法1	2	2～3	中高		
		社会・地理歴史科教育法1	2	3	中高		
		社会・地理歴史科教育法2	2	3	中高		
		社会・公民科教育法1	2	3	中高		
	社会・公民科教育法2	2	3	中高			
	宗教科教育法1	4	3	中高			
	宗教科教育法2	2	2～3	中高			
	宗教科教育法3	2	2～3	中高			
道徳の指導法	道徳教育の理論と実践Ⅱ	2		2～4	中	中免のみ	
特別活動の指導法	特別活動Ⅱ	2		1～4	中高	これらより2単位選択必修	
教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法Ⅱ	2		2～4	中高		
	教育メディア論	2		1～4	中高		
	メディア教材開発 教育情報と学習デザイン	2		2～4 2～3	中高 中高		
生徒指導、進路指導等に関する科目	生徒指導 [含進路指導]Ⅱ	2		1～4	中高		
							・生徒指導の理論及び方法
教育実習	教育実習指導1 (中学・高校)	1		3		事前指導	
	教育実習指導4 (中学・高校)	1		4		事後指導	
教職実践演習	教育実習1	2		4		中免のみ必修	
	教育実習2	2		4			
教職実践演習	教職実践演習 (中学・高校)	2		4			

教職課程

英語英文学科 [高等学校・中学校教諭 英語科免許状]

表1 教科に関する科目 (最低修得単位数)

教科に関する科目	本学の該当科目 (単位)		高校一種英語科	中学一種英語科
英語学	英語学入門④ 英語学概論④	選択必修	4以上	4以上
	英語史④ 英文法②	選択		
	英語学特講1-1② 英語学特講1-2②			
	英語学特講2-1② 英語学特講2-2②			
	英語学特講3-1② 英語学特講3-2②			
	英語学特講4-1② 英語学特講4-2②			
	英語学特講5-1② 英語学特講5-2②			
英語学特講6-1② 英語学特講6-2②				
英米文学	英文学史概説1② 英文学史概説2②	選択必修	4以上	4以上
	米文学史概説1② 米文学史概説2②	選択必修		
	英米文学特講1②	選択		
	英米文学特講2-1② 英米文学特講2-2②			
	英米文学特講3-1② 英米文学特講3-2②			
	英米文学特講4-1② 英米文学特講4-2②			
	英米文学特講5-1② 英米文学特講5-2②			
	英米文学特講6-1② 英米文学特講6-2②			
	英米文学特講7-1② 英米文学特講7-2②			
	英米文学特講8-1② 英米文学特講8-2②			
英語文化論 [児童文学] 1②				
英語文化論 [児童文学] 2②				
▼2017年度以前に修得した科目のみに適用 英文学入門④				
英語コミュニケーション	英作文1② 英作文2②	必修4単位	8以上	8以上
	英会話④ オラルコミュニケーション④	選択必修		
	メディア・コミュニケーション入門1②	選択		
	メディア・コミュニケーション入門2②			
	メディア・コミュニケーション特講1②			
	メディア・コミュニケーション特講2-2②			
	メディア・コミュニケーション特講4-1②			
	メディア・コミュニケーション特講4-2②			
	メディア・コミュニケーション特講5-1②			
	メディア・コミュニケーション特講5-2②			
メディア・コミュニケーション特講6-1②				
メディア・コミュニケーション特講6-2②				
メディア・コミュニケーション特講7-1②				
メディア・コミュニケーション特講7-2②				
メディア・コミュニケーション特講8-2②				
異文化理解	異文化理解②	必修	2	2
大学が定める単位数 計			上記の単位を含めて20以上	上記の単位を含めて20以上
法定最低修得単位数 計			20	20

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

表3 教科又は教職に関する科目 (最低修得単位数)

教科又は教職に関する科目	高校一種英語科	中学一種英語科
法定最低修得単位数 計	16以上	8以上

<注1> 本学では、「教科又は教職に関する科目」を独自に設定せず、表1(教科に関する科目)や表2(教職に関する科目)の中から法定最低修得単位数を超えた修得単位数をこれに充当する。

英語英文学科 [高等学校・中学校教諭 英語科免許状]

表2 教職に関する科目 (最低修得単位数)

教職に関する科目		本学の該当科目 (単位)	高校一種英語科	中学一種英語科	
第二欄 教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、 サービス及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の 機会の提供等	教職入門Ⅱ②	必修 2	必修 2	
	第三欄 教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理②	必修 2	必修 2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学Ⅱ② 教育行政学2② 発達心理学2②	選択必修 2	選択必修 2
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育経営② 教育行政学2② 比較教育学④	選択必修 2	選択必修 2	
第四欄 教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論②	必修 2	必修 2	
	各教科の指導法	英語科教育法1④	必修 4	必修 4	
		英語科教育法2② 英語科教育法3②	選択 2	選択 2	
	道徳の指導法	道徳教育の理論と実践Ⅱ②	(注2) -	必修 2	
	特別活動の指導法	特別活動Ⅱ②	必修 2	必修 2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法Ⅱ②	必修 2	必修 2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 教育メディア論② 教育情報と学習デザイン② メディア教材開発②	選択必修 2	選択必修 2		
第五欄 教育実習	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育実習指導1① 教育実習指導4① 教育実習1② 教育実習2②	生徒指導 [含進路指導]Ⅱ②	全て必修 4 全て必修 4	
		教育実習指導1① 教育実習指導4① 教育実習1② 教育実習2②	生徒指導 [含進路指導]Ⅱ②	全て必修 4 全て必修 4	
第六欄 教職実践演習	教職実践演習(中学・高校)②	必修 2	必修 2		
大学が定める単位数 計			30以上	36以上	
法定最低修得単位数 計			23	31	

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

<注2> 高等学校教員免許の必修科目ではないが、「教科又は教職に関する科目」に充てることができる。

日本語日本文学科 [高等学校・中学校教諭 国語科免許状]

表1 教科に関する科目 (最低修得単位数)

教科に関する科目	本学の該当科目 (単位)		高校	中学
			一種 国語科	一種 国語科
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	文章表現法④	必修	8 以上	8 以上
	日本語学概論Ⅰ② 日本語学概論Ⅱ② 日本語史概説Ⅰ② 日本語史概説Ⅱ②	選択 必修 4単位		
	日本語学研究Ⅰ② 日本語学研究Ⅱ② 日本語学研究Ⅲ② 日本語学研究Ⅳ② 日本語の文法Ⅰ② 日本語の文法Ⅱ②	選択		
国文学 (国文学史を含む。)	日本文学史Ⅰ② 日本文学史Ⅱ② 日本文学史Ⅲ② 日本文学史Ⅳ② 日本文学史Ⅴ② 日本文学史Ⅵ②	選択 必修 4単位	4 以上	4 以上
	古典文学講読Ⅰ② 古典文学講読Ⅱ② 古典文学研究Ⅰ② 古典文学研究Ⅱ② 古典文学研究Ⅲ② 古典文学研究Ⅳ② 古典文学研究Ⅴ② 古典文学研究Ⅵ② 古典文学研究Ⅶ② 古典文学研究Ⅷ② 近代文学研究Ⅰ② 近代文学研究Ⅱ② 近代文学研究Ⅲ② 近代文学研究Ⅳ② 近代文学研究Ⅴ② 近代文学研究Ⅵ② 近代文学研究Ⅶ② 近代文学研究Ⅷ② 児童文学研究Ⅰ② 児童文学研究Ⅱ②	選択		
漢文学	中国文学概論Ⅰ② 中国文学概論Ⅱ②	必修 4単位	4	4
書道 (書写を中心とする。)	書道Ⅰ② 書道Ⅱ②	選択 必修 2単位		2 以上
大学が定める単位数 計			上記の 単位を 含めて 20以上	上記の 単位を 含めて 20以上
法定最低修得単位数 計			20	20

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

表3 教科又は教職に関する科目 (最低修得単位数)

教科又は教職に関する科目	高校一種国語科	中学一種国語科
法定最低修得単位数 計	16以上	8以上

<注1> 本学では、「教科又は教職に関する科目」を独自に設定せず、表1(教科に関する科目)や表2(教職に関する科目)の中から法定最低修得単位数を超えた修得単位数をこれに充当する。

日本語日本文学科 [高等学校・中学校教諭 国語科免許状]

表2 教職に関する科目 (最低修得単位数)

教職に関する科目		本学の該当科目 (単位)	高校一種 国語科	中学一種 国語科	
第一欄 教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、 勤務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種 の機会の提供等	教職入門Ⅱ②	必修	必修	
			2	2	
第二欄 教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育 に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の 心身の発達及び学習の 過程(障害のある幼児、 児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程を 含む。)	教育原理② 教育心理学Ⅱ② 教育心理学Ⅱ②	必修 選択 必修	必修 2 選択 必修	
			2	2	
	教育に関する社会的、 制度的又は経営的事項	教育経営② 教育行政学Ⅱ② 比較教育学④	選択 必修	2 2 2 必修	
第四欄 教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編 成の方法	教育課程論②	必修	2 必修	
	各教科の指導法	国語科教育法Ⅰ④ 国語科教育法Ⅱ② 国語科教育法Ⅲ②	必修 選択	4 2 2 必修	
	道徳の指導法	道徳教育の 理論と実践Ⅱ②	(注2)	-	2 必修
	特別活動の指導法	特別活動Ⅱ②	必修	2 必修	
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の 活用を含む。)	教育方法Ⅱ② 教育メディア論② 教育情報と 学習デザイン② メディア教材開発②	必修 選択 必修	2 2 2 2 必修	
	生徒指 導、教育 相談及び 進路指導 等に関する 科目	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに 関する基礎的な 知識を含む。)の理論 及び方法	生徒指導 [含進路指導]Ⅱ② 教育相談Ⅱ②	全 て 必 修	4 4 全 て 必 修
第五欄 教育実習		教育実習指導Ⅰ① 教育実習指導Ⅳ① 教育実習Ⅰ② 教育実習Ⅱ②	全 て 必 修 選 択	4 4 全 て 必 修	
第六欄 教職実践 演習		教職実践演習 (中学・高校)②	必修	2 必修	
大学が定める単位数 計			30以上	36以上	
法定最低修得単位数 計			23	31	

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

<注2> 高等学校教員免許の必修科目ではないが、「教科又は教職に関する科目」に充てることができる。

教職課程

史学科 [高等学校教諭 地理歴史科免許状]

表 1 教科に関する科目 (最低修得単位数)

教科に関する科目	大学の該当科目 (単位)	高校一種地理歴史科	
日本史	日本史概説Ⅰ② 日本史概説Ⅱ②	選択必修	2以上
	日本史概説②		
	日本古代史Ⅰ④ 日本中世史Ⅰ④	選択	
	日本中世史Ⅱ-1② 日本近世史Ⅰ④		
	日本近世史Ⅱ④ 日本近現代史Ⅰ④		
	日本近現代史Ⅱ-1② 日本近現代史Ⅱ-2②		
日本考古学④ 日本民俗学④			
日本文化史Ⅰ② 日本文化史Ⅱ②			
日本近現代史Ⅱ④			
外国史	外国史概説④	必修	2以上
	中国古代文化史④ 中国近代史④	選択	
	西アジア近代史④ 西アジア文化史④		
	古代オリエント史④ ヨーロッパ中世史Ⅰ④		
	ヨーロッパ中世史Ⅱ④ ヨーロッパ近代史Ⅰ④		
	ヨーロッパ近代史Ⅱ④ ヨーロッパ現代史Ⅰ④		
	ヨーロッパ現代史Ⅱ④ ロシア文化史④		
	アメリカ史④ ラテンアメリカ史④		
	中国古代史④ 朝鮮近現代史④		
	東南アジア史④ 南アジア近代史④		
古代ローマ史④			
▼2017年度以前に修得した科目のみ適用 南アジア現代史④			
人文地理学及び自然地理学	人文地理学1<1>② 自然地理学1<1>②	必修	6以上
	自然地理学2<1>②	選択	
地誌	地誌学1<1>② 地誌学2<1>②	選択必修	2以上
	地誌学1② 地誌学2②	必修	
	世界音楽地誌④	選択	
大学が定める単位数 計			上記の単位を含めて20以上
法定最低修得単位数 計			20

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。
○丸内の数字は単位数を表す

表 3 教科又は教職に関する科目 (最低修得単位数)

教科又は教職に関する科目	大学の該当科目 (単位)	高校一種地理歴史科
	生涯学習概論②	16以上
	上記科目又は、表1(教科に関する科目)や表2(教職に関する科目)の中から法定最低修得単位数を超えた修得単位数をこれに充当する。	
大学が定める単位数 計		16以上
法定最低修得単位数 計		16以上

史学科 [高等学校教諭 地理歴史科免許状]

表 2 教職に関する科目 (最低修得単位数)

教職に関する科目		大学の該当科目 (単位)	高校一種地理歴史科			
第一欄	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	教職入門Ⅱ②	必修	2	
		教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)				
		進路選択に資する各種の機会の提供等				
第二欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理②	必修	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学Ⅱ② 発達心理学2②	選択必修	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育経営② 教育行政学2② 比較教育学④	選択必修	2	
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論②	必修	2	
		各教科の指導法	社会科教育法1② 社会・地理歴史科教育法1② 社会・地理歴史科教育法2②	選択 全て必修	4	
		特別活動の指導法	特別活動Ⅱ②	必修	2	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法Ⅱ②	必修	2	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育メディア論② 教育情報と学習デザイン② メディア教材開発②	選択必修	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒指導 [含進路指導]Ⅱ② 教育相談Ⅱ②	全て必修	4
		教育実習	教育実習指導1① 教育実習指導4① 教育実習1② 教育実習2②	全て必修 選択	4	
第六欄	教職実践演習	教職実践演習(中学・高校)②	必修	2		
大学が定める単位数 計			30以上			
法定最低修得単位数 計			23			

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。
○丸内の数字は単位数を表す

哲学科 [中学校教諭 社会科免許状]

表 1 教科に関する科目 (最低修得単位数)

教科に関する科目	本学の該当科目 (単位)	中学一種社会科	
日本史及び外国史	日本史概説Ⅰ<2>② 日本史概説Ⅱ<2>② 日本史概説<2>②	選択必修	6以上
	外国史概説<2>④	必修	
	西洋古代・中世哲学史Ⅰ② 西洋古代・中世哲学史Ⅱ② 西洋近代哲学史Ⅰ② 西洋近代哲学史Ⅱ② 社会思想史Ⅰ② 社会思想史Ⅱ② 日本美術史Ⅰ② 日本美術史Ⅱ② 東洋美術史Ⅰ② 東洋美術史Ⅱ② 西洋美術史Ⅰ② 西洋美術史Ⅱ② 日本倫理思想史Ⅰ② 日本倫理思想史Ⅱ②	選択	
	人文地理学Ⅰ<2>② 人文地理学Ⅱ<2>②	必修 選択	
地理学(地誌を含む。)	地誌学Ⅰ<2>② 地誌学Ⅱ<2>②	選択必修	8以上
	自然地理学Ⅰ<2>② 自然地理学Ⅱ<2>②	必修	
「法律学、政治学」	法学Ⅰ[含国際法]<2>④ 政治学概論[含国際政治]Ⅰ<2>④ 政治学概論[含国際政治]Ⅱ<2>④ 政治学Ⅰ<2>② 政治学Ⅱ<2>②	選択必修	4以上
「社会学、経済学」	社会学<2>④ 経済学概論[含国際経済]<2>④ マクロ経済学<2>② 経済政策論<2>②	選択必修	4以上
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論Ⅰ② 哲学概論Ⅱ② 倫理学概論Ⅰ② 倫理学概論Ⅱ② ▼2017年度以前に修得した科目のみ適用 哲学概論Ⅲ② 哲学概論Ⅳ② 倫理学概論Ⅲ② 倫理学概論Ⅳ②	選択必修	2以上
	旧約聖書学Ⅰ② 旧約聖書学Ⅱ② 新約聖書学Ⅰ② 新約聖書学Ⅱ② 宗教思想史Ⅰ② 宗教思想史Ⅱ② キリスト教思想史Ⅰ② キリスト教思想史Ⅱ② キリスト教概論Ⅰ② キリスト教概論Ⅱ② キリスト教倫理学Ⅰ② 美学・芸術学概論Ⅰ② 美学・芸術学概論Ⅱ② 哲学・倫理学特講Ⅰ② 哲学・倫理学特講Ⅱ② 哲学・倫理学特講Ⅲ② 哲学・倫理学特講Ⅳ② 哲学・倫理学特講Ⅴ② 哲学・倫理学特講Ⅵ② 哲学・倫理学特講Ⅶ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ②	選択	
	大学が定める単位数 計		
	法定最低修得単位数 計	20	

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

表 3 教科又は教職に関する科目 (最低修得単位数)

教科又は教職に関する科目	中学一種社会科
法定最低修得単位数 計	8以上

<注1> 本学では、「教科又は教職に関する科目」を独自に設定せず、表1(教科に関する科目)や表2(教職に関する科目)の中から法定最低修得単位数を超えた修得単位数をこれに充当する。

哲学科 [高等学校教諭 地理歴史科免許状]

表 1 教科に関する科目 (最低修得単位数)

教科に関する科目	本学の該当科目 (単位)	高校一種地理歴史科	
日本史	日本史概説Ⅰ<2>② 日本史概説Ⅱ<2>② 日本史概説<2>②	選択必修	2以上
	日本古代史Ⅰ④ 日本中世史Ⅰ④ 日本中世史Ⅱ-1② 日本近世史Ⅰ④ 日本近世史Ⅱ④ 日本近現代史Ⅰ④ 日本近現代史Ⅱ-1② 日本近現代史Ⅱ-2② 日本民俗学④ 日本文化史Ⅰ② 日本文化史Ⅱ② 日本倫理思想史Ⅰ② 日本倫理思想史Ⅱ② 日本美術史Ⅰ② 日本美術史Ⅱ② ▼2016年度以降に修得した科目のみ適用 日本近現代史Ⅱ④	選択	
	外国史概説<2>④	必修	
	中国古代文化史④ 朝鮮近現代史④ 中国古代史④ 中国近代史④ 東南アジア史④ 南アジア現代史④ 南アジア近代史④ 西アジア近代史④ 西アジア文化史④ 古代ローマ史④ 古代オリエント史④ ヨーロッパ中世史Ⅰ④ ヨーロッパ中世史Ⅱ④ ヨーロッパ近代史Ⅰ④ ヨーロッパ近代史Ⅱ④ ヨーロッパ現代史Ⅰ④ ヨーロッパ現代史Ⅱ④ ロシア文化史④ アメリカ史④ ラテンアメリカ史④ 西洋古代・中世哲学史Ⅰ② 西洋古代・中世哲学史Ⅱ② 西洋近代哲学史④ 西洋近代哲学史Ⅰ② 西洋近代哲学史Ⅱ② 西洋美術史Ⅰ② 西洋美術史Ⅱ② 東洋美術史Ⅰ② 東洋美術史Ⅱ② 哲学史特講④ ▼2017年度以前に修得した科目のみ適用 朝鮮現代史④ 南アジア現代史④ 哲学史演習Ⅰ④	選択	
人文地理学及び自然地理学	人文地理学Ⅰ<2>② 人文地理学Ⅱ<2>② 自然地理学Ⅰ<2>② 自然地理学Ⅱ<2>②	必修 選択 必修	6以上
地誌	地誌学Ⅰ<2>② 地誌学Ⅱ<2>②	選択必修	2以上
大学が定める単位数 計			上記の単位を含めて20以上
法定最低修得単位数 計			20

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

表 3 教科又は教職に関する科目 (最低修得単位数)

教科又は教職に関する科目	高校一種地理歴史科
法定最低修得単位数 計	16以上

<注1> 本学では、「教科又は教職に関する科目」を独自に設定せず、表1(教科に関する科目)や表2(教職に関する科目)の中から法定最低修得単位数を超えた修得単位数をこれに充当する。

教職課程

哲学科 [高等学校教諭 公民科免許状]

表 1 教科に関する科目 (最低修得単位数)

教科に関する科目	大学の該当科目 (単位)	高校一種 公民科
「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学 [含国際法] <2>④ 政治学概論 [含国際政治] 1<2>④ 政治学概論 [含国際政治] 2<2>④ 政治学 1<2>② 政治学 2<2>②	選択必修 4以上
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	社会学<2>④ 経済学概論 [含国際経済] <2>④ マクロ経済学<2>② 経済政策論<2>②	選択必修 4以上
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論Ⅰ② 倫理学概論Ⅰ② ▼2017年度以前に修得した科目のみ適用 哲学概論Ⅲ② 倫理学概論Ⅲ② 旧約聖書Ⅰ② 新約聖書Ⅰ② 宗教思想Ⅰ② 宗教学概論Ⅰ② キリスト教倫理学Ⅰ② 美学・芸術学概論Ⅰ② キリスト教倫理学Ⅱ② 哲学・倫理学特講Ⅰ② キリスト教倫理学Ⅲ② 哲学・倫理学特講Ⅱ② キリスト教倫理学Ⅳ② 哲学・倫理学特講Ⅲ② キリスト教倫理学Ⅴ② 哲学・倫理学特講Ⅳ② キリスト教倫理学Ⅵ② 哲学・倫理学特講Ⅴ② キリスト教倫理学Ⅶ② 哲学・倫理学特講Ⅵ② キリスト教倫理学Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅶ② キリスト教倫理学Ⅸ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② キリスト教倫理学Ⅹ② 哲学・倫理学特講Ⅸ② キリスト教倫理学Ⅺ② 哲学・倫理学特講Ⅹ② キリスト教倫理学Ⅻ② 哲学・倫理学特講Ⅺ② キリスト教倫理学Ⅼ② 哲学・倫理学特講Ⅻ②	選択必修 2以上
	旧約聖書Ⅱ② 新約聖書Ⅱ② 宗教思想Ⅱ② 宗教学概論Ⅱ② キリスト教倫理学Ⅱ② 美学・芸術学概論Ⅱ② キリスト教倫理学Ⅲ② 哲学・倫理学特講Ⅲ② キリスト教倫理学Ⅳ② 哲学・倫理学特講Ⅳ② キリスト教倫理学Ⅴ② 哲学・倫理学特講Ⅴ② キリスト教倫理学Ⅵ② 哲学・倫理学特講Ⅵ② キリスト教倫理学Ⅶ② 哲学・倫理学特講Ⅶ② キリスト教倫理学Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② キリスト教倫理学Ⅸ② 哲学・倫理学特講Ⅸ② キリスト教倫理学Ⅹ② 哲学・倫理学特講Ⅹ② キリスト教倫理学Ⅺ② 哲学・倫理学特講Ⅺ② キリスト教倫理学Ⅻ② 哲学・倫理学特講Ⅻ②	選択 2以上
大学が定める単位数 計		上記の単位を含めて 20以上
法定最低修得単位数 計		20

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

表 3 教科又は教職に関する科目 (最低修得単位数)

教科又は教職に関する科目	高校一種公民科
法定最低修得単位数計	16以上

<注1> 本学では、「教科又は教職に関する科目」を独自に設定せず、表1(教科に関する科目)や表2(教職に関する科目)の中から法定最低修得単位数を超えた修得単位数をこれに充当する。

哲学科 [高等学校教諭 地理歴史科免許状、高等学校教諭 公民科免許状、中学校教諭 社会科免許状]

表 2 教職に関する科目 (最低修得単位数)

教職に関する科目		大学の該当科目 (単位)	高校一種 地理歴史科	高校一種 公民科	中学一種 社会科	
第一欄	教職の意義及び教員の役割	教職入門Ⅱ②	必修	2	必修	2
	教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)		必修	2	必修	2
第二欄	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理②	必修	2	必修	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学Ⅱ② 発達心理学Ⅱ②	選択必修	2	選択必修	2
第三欄	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育経営② 教育行政学Ⅱ② 比較教育学④	選択必修	2	選択必修	2
	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論②	必修	2	必修	2
第四欄	各教科の指導法	社会科教育法Ⅰ② 社会・地理歴史科教育法Ⅰ② 社会・地理歴史科教育法Ⅱ②	全て必修	4	必修	2
		社会・公民科教育法Ⅰ② 社会・公民科教育法Ⅱ②	全て必修	4	(注2)	4
第五欄	道徳の指導法	道徳教育の理論と実践Ⅱ②	(注3)	-	(注3)	-
	特別活動の指導法	特別活動Ⅱ②	必修	2	必修	2
第六欄	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法Ⅱ② 教育メディア論② 教育情報と学習デザイン② メディア教材開発②	選択必修	2	選択必修	2
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導[含進路指導]Ⅱ②	全て必修	4	全て必修	4
第七欄	教育実習	教育実習指導Ⅰ① 教育実習指導Ⅳ① 教育実習Ⅰ② 教育実習Ⅱ②	全て必修	4	全て必修	4
	教職実践演習	教職実践演習(中学・高校)②	必修	2	必修	2
大学が定める単位数 計			30以上	30以上	36以上	
法定最低修得単位数 計			23	23	31	

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

<注2> 社会・地理歴史科教育法1、2の計4単位又は社会・公民科教育法1、2の計4単位いずれかの組み合わせで修得すること。

<注3> 高等学校教員免許の必修科目ではないが、「教科又は教職に関する科目」に充てることができる。

哲学科 [高等学校・中学校教諭 宗教科免許状]

表1 教科に関する科目 (最低修得単位数)

教科に関する科目	本学の該当科目 (単位)		高校 一種 宗教科	中学 一種 宗教科
宗教学	比較文化宗教学1<2>② 比較文化宗教学2<2>② 比較文化宗教学3<2>② キリスト教学概論Ⅰ② キリスト教学概論Ⅱ②	選択 必修 4単位	4 以上	4 以上
	新約聖書学Ⅰ② 新約聖書学Ⅱ② 旧約聖書学Ⅰ② 旧約聖書学Ⅱ②	選択		
宗教史	宗教思想史Ⅰ② 宗教思想史Ⅱ② キリスト教思想史Ⅰ② キリスト教思想史Ⅱ②	選択 必修 2単位	2 以上	2 以上
	キリスト教美術④ キリスト教音楽④ ▼2016年度以降に修得した科目のみ適用 キリスト教文学④ ▼2015年度以前に修得した科目のみ適用 キリスト教特講Ⅰ④	選択		
[教理学、 哲学]	哲学概論Ⅰ② 哲学概論Ⅱ② 倫理学概論Ⅰ② 倫理学概論Ⅱ② ▼2017年度以前に修得した科目のみ適用 哲学概論Ⅲ② 哲学概論Ⅳ② 倫理学概論Ⅲ② 倫理学概論Ⅳ②	選択 必修 2単位	2 以上	2 以上
	キリスト教倫理学Ⅰ② キリスト教特講Ⅱ④ キリスト教特講Ⅲ④ キリスト教特講Ⅳ④ 哲学・倫理学特講Ⅰ② 哲学・倫理学特講Ⅱ② 哲学・倫理学特講Ⅲ② 哲学・倫理学特講Ⅳ② 哲学・倫理学特講Ⅴ② 哲学・倫理学特講Ⅵ② 哲学・倫理学特講Ⅶ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅷ② 哲学・倫理学特講Ⅸ② 哲学・倫理学特講Ⅹ② 哲学・倫理学特講Ⅺ② 哲学・倫理学特講Ⅻ② 哲学・倫理学特講Ⅻ② 美学・芸術学概論Ⅰ② 美学・芸術学概論Ⅱ②	選択	2 以上	2 以上
大学が定める単位数 計			上記の 単位を 含めて 20以上	上記の 単位を 含めて 20以上
法定最低修得単位数 計			20	20

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。
○丸内の数字は単位数を表す

表3 教科又は教職に関する科目 (最低修得単位数)

教科又は教職に関する科目	高校一種宗教科	中学一種宗教科
法定最低修得単位数計	16以上	8以上

<注1> 本学では、「教科又は教職に関する科目」を独自に設定せず、表1(教科に関する科目)や表2(教職に関する科目)の中から法定最低修得単位数を超えた修得単位数をこれに充当する。

哲学科 [高等学校・中学校教諭 宗教科免許状]

表2 教職に関する科目 (最低修得単位数)

教職に関する科目		本学の該当科目 (単位)	高校 一種 宗教科	中学 一種 宗教科	
第二欄 教職の 意義等 に関する 科目	教職の意義及び教員の役割	教職入門Ⅱ②	必修	2	
	教員の職務内容(研修、勤務及び身分保障等を含む。)				
	進路選択に資する各種の機会の提供等				
第三欄 教育の 基礎理論 に関する 科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理②	必修	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学Ⅱ② 発達心理学Ⅱ②	選択 必修	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育経営② 教育行政学Ⅱ② 比較教育学④	選択 必修	2	
第四欄 教育課程 及び指導 法に関する 科目	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論②	必修	2	
	各教科の指導法	宗教科教育法Ⅰ④ 宗教科教育法Ⅱ② 宗教科教育法Ⅲ②	必修 選択	4 2	
	道徳の指導法	道徳教育の理論と実践Ⅱ②	(注2) -	必修	2
	特別活動の指導法	特別活動Ⅱ②	必修	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法Ⅱ② 教育メディア論② 教育情報と学習デザイン② メディア教材開発②	必修 選択 必修	2 2	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 教育相談Ⅱ②	生徒指導 [含進路指導]Ⅱ② 全て 必修	4 4	
	第五欄 教育実習	教育実習指導Ⅰ① 教育実習指導Ⅳ① 教育実習Ⅰ② 教育実習Ⅱ②	全て 必修 選択	4 6	
第六欄 教職実践 演習	教職実践演習(中学・高校)②	必修	2		
大学が定める単位数 計			30以上	36以上	
法定最低修得単位数 計			23	31	

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。
○丸内の数字は単位数を表す

<注2> 高等学校教員免許の必修科目ではないが、「教科又は教職に関する科目」に充てることができる。

教職課程

教育学科（教育学専攻）[高等学校教諭 公民科免許状]

表 1 教科に関する科目（最低修得単位数）

教科に関する科目	大学の該当科目 (単位)	高校一種 公民科	
「法学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」	法学 [含国際法] <3>④	必修	8 以上
	政治学概論 [含国際政治] 1<3>④ 政治学概論 [含国際政治] 2<3>④ 政治学 1<3>② 政治学 2<3>②	選択 必修	
「社会学、経済学（国際経済を含む）」	社会学<3>④	必修	8 以上
	経済学概論 [含国際経済] <3>④ マクロ経済学<3>② 経済政策論<3>②		
「社会学概論 1② 社会学概論 2②」	社会学<3>④	必修	4 以上
	社会学概論 1② 社会学概論 2②	選択	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論 I<3>② 哲学概論 II<3>②	必修	4 以上
	教育哲学 2② 西洋社会思想② 旧約聖書学 I② 旧約聖書学 II② 新約聖書学 I② 新約聖書学 II② ▼2016年度以降に修得した科目のみ適用 キリスト教学特講 I④	選択	
大学が定める単位数 計			上記の 単位を 含めて 20以上
法定最低修得単位数 計			20

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

表 3 教科又は教職に関する科目（最低修得単位数）

教科又は教職に関する科目	大学の該当科目 (単位)	高校一種 公民科
生涯学習概論②	上記科目又は、表 1（教科に関する科目）や表 2（教職に関する科目）の中から法定最低修得単位数を超えた修得単位数をこれに充当する。	16以上
	法定最低修得単位数 計	

教育学科（教育学専攻）[高等学校教諭 公民科免許状]

表 2 教職に関する科目（最低修得単位数）

教職に関する科目		大学の該当科目 (単位)	高校一種 公民科	
第一欄 教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、 勤務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種 の機会の提供等	教職入門Ⅱ②	必修 2	
	第二欄 教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理②	必修 2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学Ⅱ② 発達心理学Ⅱ②	選択 必修 2
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育経営② 教育行政学Ⅱ② 比較教育学④	選択 必修 2	
第四欄 教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論②	必修 2	
	各教科の指導法	社会科教育法Ⅰ② 社会・公民科教育法Ⅰ② 社会・公民科教育法Ⅱ②	選択 全て 必修 4	
	特別活動の指導法	特別活動Ⅱ②	必修 2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法Ⅱ② 教育メディア論② 教育情報と 学習デザイン② メディア教材開発②	必修 2	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導 進路指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒指導 [含進路指導]Ⅱ② 教育相談Ⅱ②	全て 必修 4
第五欄 教育実習	教育実習	教育実習指導Ⅰ① 教育実習指導Ⅳ① 教育実習Ⅰ② 教育実習Ⅱ②	全て 必修 4 選択	
		教職実践演習	教職実践演習(中学・高校)②	必修 2
大学が定める単位数 計			30以上	
法定最低修得単位数 計			23	

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

心理学科 [高等学校教諭 公民科免許状]

表 1 教科に関する科目 (最低修得単位数)

教科に関する科目	大学の該当科目 (単位)	高校一種 公民科	
「法学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)」	法学 [含国際法] <4>④	必修	8 以上
	政治学概論 [含国際政治] 1<4> ④政治学概論 [含国際政治] 2<4>④ 政治学 1<4>② 政治学 2<4>②	選択 必修	
「社会学、経済学(国際経済を含む)」	社会学<4>④ 経済学概論 [含国際経済] <4>④ マクロ経済学<4>② 経済政策論<4>②	必修	8 以上
		必修 必修	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	倫理学概論Ⅰ<4>② 倫理学概論Ⅱ<4>②	選択 必修	2 以上
	キリスト教学概論Ⅰ<4>② キリスト教学概論Ⅱ<4>② 心理学概論④ 臨床心理学特講 2② 発達心理学特講 1② 心理学史②	選択	
大学が定める単位数 計			上記の 単位を 含めて 20以上
法定最低修得単位数 計			20

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

表 3 教科又は教職に関する科目 (最低修得単位数)

教科又は教職に関する科目	大学の該当科目 (単位)	高校一種 公民科
	生涯学習概論②	16以上
	上記科目又は、表1(教科に関する科目)や表2(教職に関する科目)の中から法定最低修得単位数を超えた修得単位数をこれに充当する。	
法定最低修得単位数 計		16以上

心理学科 [高等学校教諭 公民科免許状]

表 2 教職に関する科目 (最低修得単位数)

教職に関する科目		大学の該当科目 (単位)	高校一種 公民科	
第一欄 教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門Ⅱ②	必修	2
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育原理② 教育心理学Ⅱ② 教育行政学Ⅱ② 比較教育学④	必修 選択 必修	2
第二欄 教育の基礎理論に関する科目	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育経営② 教育行政学Ⅱ② 比較教育学④	選択 必修	2
	教育課程の意義及び編成の方法 各教科の指導法 特別活動の指導法	教育課程論② 社会科教育法Ⅰ② 社会・公民科教育法Ⅰ② 社会・公民科教育法Ⅱ②	必修 選択 全て 必修	2 4 2
第四欄 教育課程及び指導法に関する科目	特別活動の指導法	特別活動Ⅱ②	必修	2
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法Ⅱ② 教育メディア論② 教育情報と学習デザイン② メディア教材開発②	必修 選択 必修	2
第五欄 教育実習	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導 進路指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 教育相談Ⅱ②	全て 必修	4
		教育実習指導Ⅰ① 教育実習指導Ⅳ① 教育実習Ⅰ② 教育実習Ⅱ②	全て 必修 選択	4
第六欄 教職実践演習		教職実践演習(中学・高校)②	必修	2
大学が定める単位数 計			30以上	
法定最低修得単位数 計			23	

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

○丸内の数字は単位数を表す

教職課程

教育学科（初等教育学専攻）〔小学校・幼稚園教諭免許状〕

表1 教科に関する科目（最低修得単位数）

教科に関する科目	本学の該当科目 (単位)	小学校		幼稚園			
		一種	二種	一種	二種		
国語 (小学校は書写を含む。)	国語概論 〔含書写〕② ▼2016年度以前に修得した科目のみ対象 日本語学概論Ⅰ② 日本語学概論Ⅱ② 書道Ⅰ② ^{*1} 書道Ⅱ② ^{*1}			選択 必修	6	選択 必修	4
算数	数学概論② 算数概論②	選択 必修	8	選択 必修	4		
生活	生活科概論②						
音楽	音楽概論1② ^{*2} 音楽概論2② ^{*2}						
図画工作	造形概論② 図画工作概論②						
体育	体育概論②						
社会	社会科概論②						
理科	理科概論②						
家庭	家政学概論② 家庭科概論②						
大学が定める単位数(計)		8以上	4以上	6以上	4以上		
法定最低修得単位数(計)		8	4	6	4		

- ※1 幼稚園「教科に関する科目」の中に書道の分野を含まない。
なお、小学校「教科に関する科目」の国語分野において「書道Ⅰ」「書道Ⅱ」は選択科目となる。
- ※2 小学校免許取得希望者は「音楽概論1」を修得、幼稚園免許取得希望者は「音楽概論2」を修得すること。

表3 教科又は教職に関する科目（最低修得単位数）

教科又は 教職に関する科目	小学校		幼稚園	
	一種	二種	一種	二種
単位数(計)	10	2	10	0

(注) 本学では、「教科又は教職に関する科目」を独自に設定せず、表1（教科に関する科目）や表2（教職に関する科目）の法定最低修得単位数を超えた単位をあてることになっている。

教育学科（初等教育学専攻）〔小学校教諭免許状〕

表2 教職に関する科目（最低修得単位数）

教職に関する科目	各科目に含めることが 必要な事項	本学の該当科目 (単位)	小学校			
			一種	二種		
第二欄 教職の 意義等に関する 科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、 服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種 の機会の提供等	教職入門Ⅰ②	必修	2	必修	2
第三欄 教育の 基礎理論に関する 科目	教育の理念並びに教育 に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の 心身の発達及び学習の 過程(障害のある幼児、 児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程を 含む。)	教育学概論④ 教育原理1② 幼児教育原論② 日本教育史1② 日本教育史2② 西洋教育史2② 教育原理2②	選択 必修	2	選択 必修	2
第四欄 教育課程 及び指導法に関する 科目	教育課程の意義及び 編成の方法	教育課程方法論②	必修	2	必修	2
	各教科の指導法	国語科教育法 〔小学校〕② 社会科教育法 〔小学校〕② 算数科教育法② 生活科教育法② 家庭科教育法② 理科教育法② 音楽科教育法② 図画工作科教育法② 体育科教育法②	9教科 全て 必修	18	6教科 以上 (音楽、 図画 工作 を含む)	12
	道徳の指導法	道徳教育の理論 と実践Ⅰ②	必修	2	必修	2
	特別活動の指導法	特別活動Ⅰ②	必修	2	必修	2
第五欄 教育実習	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の 活用を含む。)	教育方法Ⅰ② 教育方法と メディア開発② 教育学②	選択 必修	2	選択 必修	2
		生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリ ングに関する基礎的な 知識を含む。)の理論 及び方法	生徒指導 〔含進路指導〕Ⅰ② 教育相談Ⅰ②	必修	2	必修
第六欄 教職実践 演習	教職実践演習 (幼稚園・小学校)② 教職実践演習 (小学校)②	2科目 選択 必修 2科目 選択 必修	2	2科目 選択 必修	2	
大学が定める単位数 計			50以上	44以上		
法定最低修得単位数 計			41	31		

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

教育学科（初等教育学専攻）〔幼稚園教諭免許状〕
2014～2017年度入学者

表2 教職に関する科目（最低修得単位数）

教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	本学の該当科目 (単位)	幼稚園	
			一種	二種
第二欄 教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門Ⅰ②	必修: 2	必修: 2
第二欄 教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	幼児教育原論②	必修: 2	必修: 2
		教育学概論④	必修: 4	選択必修: 4
		日本教育史Ⅰ② 日本教育史Ⅱ② 西洋教育史Ⅱ②	選択必修: 2	選択必修: 2
		教育心理学Ⅰ② 発達心理学Ⅰ②	選択必修: 2	選択必修: 2
第四欄 教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	幼児教育課程論②	選択必修: 2	選択必修: 2
		▼2016年度以降に修得した科目のみ適用 教育課程方法論②		
第四欄 保育内容の指導法	保育内容の指導法	保育内容研究[健康]② 保育内容研究[人間関係]② 保育内容研究[環境]② 保育内容研究[言葉]② 保育内容研究[表現]Ⅰ② 保育内容研究[表現]Ⅱ②	全て必修: 12	全て必修: 12
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育方法論Ⅰ② 保育方法論Ⅱ②	必修: 4
第五欄 教育実習	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	2科目 選択: 2	2科目 選択必修: 2
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	幼児理解[含教育相談]②	必修: 2
第六欄 教職実践演習	教育実習	教育実習指導Ⅱ① 教育実習指導Ⅲ① 教育実習指導Ⅴ① 教育実習指導Ⅵ① 教育実習Ⅲ② 教育実習Ⅳ②	2科目 必修: 2	2科目 必修: 2
		教職実践演習(幼稚園・小学校)②	必修: 2	必修: 2
大学が定める単位数 計			42以上	42以上
法定最低修得単位数 計			35	27

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

<注1> 小学校教諭免許を主免許として、あわせて幼稚園教諭免許を取得する場合、保育内容研究の科目のうち二つまでは、下記の対応で小学校の教科教育法の科目又は特別活動を持って替えることができる。また、生活科教育法または特別活動一科目で複数の保育内容研究に替えることはできない。

体育—[健康]、生活—[人間関係]、算数または生活—[環境]、国語—[言葉]、音楽・図画工作—[表現]Ⅰと[表現]Ⅱ、特別活動—[いずれにも可]

教育学科（初等教育学専攻）〔幼稚園教諭免許状〕
2018年度入学者

表2 教職に関する科目（最低修得単位数）

教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	本学の該当科目 (単位)	幼稚園		
			一種	二種	
第二欄 教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	保育者論②	必修: 2	必修: 2	
第二欄 教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	保育原理②	必修: 2	必修: 2	
		教育原理Ⅰ②	必修: 2	選択必修: 2	
		教育原理Ⅱ②	選択	選択	
		日本教育史Ⅰ② 日本教育史Ⅱ② 西洋教育史Ⅱ②	選択必修: 2	選択必修: 2	
第四欄 教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学Ⅰ② 発達心理学Ⅰ②	選択必修: 2	選択必修: 2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育経営と学校制度②	必修: 2	必修: 2
第四欄 保育内容の指導法	保育内容の指導法	保育・幼児教育課程論②	▼2016年度以降に修得した科目のみ適用 教育課程方法論②	選択必修: 2	選択必修: 2
		保育内容研究[健康]② 保育内容研究[人間関係]② 保育内容研究[環境]② 保育内容研究[言葉]② 保育内容研究[表現]Ⅰ② 保育内容研究[表現]Ⅱ②	保育内容総論② 保育内容[健康]② 保育内容[人間関係]② 保育内容[環境]② 保育内容[言葉]② 保育内容[表現]② 保育の表現技術[総合Ⅰ]② 保育の表現技術[総合Ⅱ]②	全て必修: 16	全て必修: 16
第五欄 教育実習	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育方法論②	必修: 2	必修: 2
		幼児理解の理論及び方法	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	幼児理解[含教育相談]②	必修: 2
第六欄 教職実践演習	教育実習	教育実習指導Ⅱ① 教育実習指導Ⅲ① 教育実習指導Ⅴ① 教育実習指導Ⅵ① 教育実習Ⅲ② 教育実習Ⅳ②	2科目 選択必修: 2	2科目 必修: 2	
		教職実践演習②	必修: 2	必修: 2	
大学が定める単位数 計			42以上	42以上	
法定最低修得単位数 計			35	27	

今年度の開講状況はシラバスで確認すること。

<注1> 小学校教諭免許を主免許として、あわせて幼稚園教諭免許を取得する場合、保育内容の科目のうち一部を小学校の教科教育法の科目又は特別活動を持って替えることができる。詳細は次年度配布の履修要覧2019を参照のこと。

2. 中学校・高等学校における教育実習の履修要件について

中学校・高等学校の教育実習にあたり、次の要件を満たしていることが必要です。

- (1) 教育実習は教職に就く意志のある者に限られます。希望者は、3年次の手続き（「教育実習手続依頼書」の提出）に先立って、各学科専攻教職課程委員による、その意志の確認を受けていること。
- (2) 教育実習は4年次にしますが、そのための手続き（「教育実習手続依頼書」の提出）は3年次前期初めの所定の期間に行われます。期間内に所定の手続きを完了していること（完了しない者は、4年次での教育実習を行うことはできません）。
- (3) 原則として全学必修分野の外国語科目（第一外国語、第二外国語）を標準履修年次に修得していること。
- (4) 3年次の終わりまでに次に挙げる教育実習履修資格要件の科目を修得していること（教育実習履修資格要件を満たさない場合は、実習取り消しとなります）。

科 目		教育実習履修資格要件
各教科共通	中・高 (3～4週間)	当該教科教育法 (必修6単位)
	高のみ (2週間)	当該教科教育法 (必修4単位)
教育課程論		修得済であること
教育原理		左の5つの区分の中から4区分についてそれぞれ1科目ずつ修得済であること
教育心理学Ⅱ、発達心理学2		
教育経営、比較教育学		
教育方法Ⅱ、教育メディア論、メディア教材開発、教育情報と学習デザイン		
道徳教育の理論と実践Ⅱ、特別活動Ⅱ、生徒指導〔含進路指導〕Ⅱ、教育相談Ⅱ		
教育実習指導1		修得済であること

- (5) 上記の条件に加えて、実習教科が英語科または国語科の者は次の要件も満たしていることが必要です。

国語科の場合

- ・3年次の終わりまでに「文章表現法」が修得済みであること。

英語科の場合

- ・1年次の後期に行われる1年英語のGeneral Testにおいて、Listening TestおよびStructure Testの合計点が120点以上であること。ただし、2年終了時までに実用英語技能検定2級以上またはTOEIC470点以上のいずれかを取得していればこの条件を満たしているとみなすことができる。
- ・1、2年次の英語、即ち1年英語、2年英語1・2年英作文、または、2年英語2（リーディング）・2年英語2（オラル）の単位が、原則として履修初年度に修得済みであること。

- (6) 教育実習履修資格要件のうち、時間割上他の専攻必修科目との重なりから当該年次中の履修が不可能な科目のある場合は、当該年次履修登録期間中に、その事情を教務課に申し出て指示に従ってください。

3. 小学校における教育実習の履修要件について

■2014～2017年度入学者

小学校の教育実習にあたり、次の要件を満たしていることが必要です。

- (1) 教育実習は教職に就く意志のある者に限られます。希望者は、3年次の手続き（「教育実習手続依頼書」の提出）に先立って、各学科・専攻教職課程委員による、その意志の確認を受けていること。
- (2) 教育実習は4年次にしますが、そのための手続き（「教育実習手続依頼書」の提出）は3年次前期初めの所定の期間に行われます。期間内に所定の手続きを完了していること（完了しない者は、4年次での教育実習を行うことはできません）。
- (3) 原則として全学必修分野の外国語科目（第一外国語、第二外国語）を標準履修年次に修得していること
- (4) 3年次の終わりまでに次に挙げる教育実習履修資格要件の科目を修得していること（教育実習履修資格要件を満たさない場合は、実習取り消しとなります）。

S1コース、S2コース共通

科 目	教育実習履修資格要件
教育学概論	修得済であること
教育課程方法論	修得済であること
教育実習指導2	修得済であること
道徳教育の理論と実践Ⅰ 特別活動Ⅰ 生徒指導〔含進路指導〕Ⅰ 教育相談Ⅰ	左の5つの区分の中から4区分についてそれぞれ1科目ずつ修得済であること
西洋教育史2 日本教育史Ⅰ 日本教育史2	
教育経営と学校制度	
教育心理学Ⅰ 発達心理学Ⅰ	
教育方法Ⅰ 教育工学 教育方法とメディア開発	
各教科の指導法	3科目以上修得済であること

また、要件ではありませんが、音楽、図画工作、体育関係の単位を修得しておくことが望まれます。

- (5) 教育実習履修資格要件のうち、時間割上他の専攻必修科目との重なりから当該年次中の履修が不可能な科目のある場合は、当該年次履修登録期間中に、その事情を教務課に申し出て指示に従ってください。

■2018年度入学者

小学校の教育実習要件は、履修要覧p.160を参照してください。

4. 幼稚園における教育実習の履修要件について

■2014～2017年度入学者

幼稚園の教育実習にあたり、次の要件を満たしていることが必要です。

- (1)教育実習は教職に就く意志のある者に限られます。希望者は、3年次の手続き（「教育実習手続依頼書」の提出）に先立って、各学科・専攻教職課程委員による、その意志の確認を受けていること。
- (2)教育実習は4年次にしますが、そのための手続き（「教育実習手続依頼書」の提出）は3年次前期初めの所定の期間に行われます。期間内に所定の手続きを完了していること（完了しない者は、4年次での教育実習を行うことはできません）。
- (3)原則として全学必修分野の外国語科目（第一外国語、第二外国語）を標準履修年次に修得していること。
- (4)3年次の終わりまでに次に挙げる教育実習履修資格要件の科目を修得していること（教育実習履修資格要件を満たさない場合は、実習取り消しとなります）。

Y1コース、Y2コース共通

科 目	教育実習履修資格要件
幼児教育原論	修得済であること
幼児教育課程論	修得済であること
教育実習指導3	修得済であること
保育方法論1 保育方法論2	修得済であること
音楽概論2	修得済であること
教育学概論 西洋教育史2 日本教育史1 日本教育史2	左の5つの区分の中から4区分についてそれぞれ1科目ずつ修得済であること
教育経営と学校制度	
教育心理学I 発達心理学1	
幼児理解 [含教育相談]	
造形概論 図画工作概論	
領域：健康 保育内容研究 [健康]	2領域以上修得済みであること
領域：人間関係 保育内容研究 [人間関係]	
領域：環境 保育内容研究 [環境]	
領域：言葉 保育内容研究 [言葉]	
領域：表現 保育内容研究 [表現] 1 保育内容研究 [表現] 2	

また、要件ではありませんが、音楽、図画工作、体育関係の単位を修得しておくことが望まれます。

- (5)教育実習履修資格要件のうち、時間割上他の専攻必修科目との重なりから当該年次中の履修が不可能な科目のある場合は、当該年次履修登録期間中に、その事情を教務課に申し出て指示に従ってください。

■2018年度入学者

幼稚園の教育実習要件は、履修要覧p.187を参照してください。